



# 東南おきたま つや姫だより

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト置賜地域本部実践班

## 出穂は平年並～やや早い予想！

### 「生育を見極め！」“食味重視”の穂肥を！遅れず実施！

## 1 生育状況（農業技術普及課調査圃）

- つや姫の生育は、平年値に比べ、草丈は「長く」、茎数は「やや多く」、葉数、葉色は「平年並み」の状況です。一部、葉色の濃い圃場もみられます。

6月30日現在		草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
つや姫	川西町	49.1	531	9.3	43.9
	平年比	118	104	±0.0	+0.5

## 2 直ちに中干し・作溝を行いましょう！

中干しは、田面に小ヒビが入る程度を基本とします。生育量が大きい場合や葉色が濃い場合は強めの中干し、生育量が小さい場合や葉色が低下している場合は弱めの中干しとします。

中干し直後は、作溝に水がたまる程度とし、その後徐々に間断かん水を行います。

### 【中干しの効果】

- 根域が広がり、高温時、登熟期に根の活力が維持され品質アップ

### 【作溝の効果】

- 圃場内の水回りが良くなり、効率的な水管理が可能に！

## 3 食味重視の穂肥で最高品質の「つや姫」へ！

### ○ 10葉期の生育診断《裏面図を参照》

#### ① 適正域

【mあたり茎数が 600 本/m<sup>2</sup>以下、葉色が 39 以下の場合】

→ 出穂 30 日前に **窒素成分 1.5 kg/10a**

#### ② 生育やや過剰・葉色やや濃い

【mあたり茎数が 600～650 本/m<sup>2</sup>、または葉色が 39～41 の場合】

→ 出穂 30 日前に **窒素成分で 1.0 kg/10a 以下**

#### ③ 生育過剰・葉色濃い

【mあたり茎数が 650 本/m<sup>2</sup>以上、または葉色が 41 以上の場合】

→ 出穂 25 日頃まで葉色が低下したら、窒素成分で 1.0 kg/10a 施用  
**葉色が低下しない場合は追肥を行わない。**

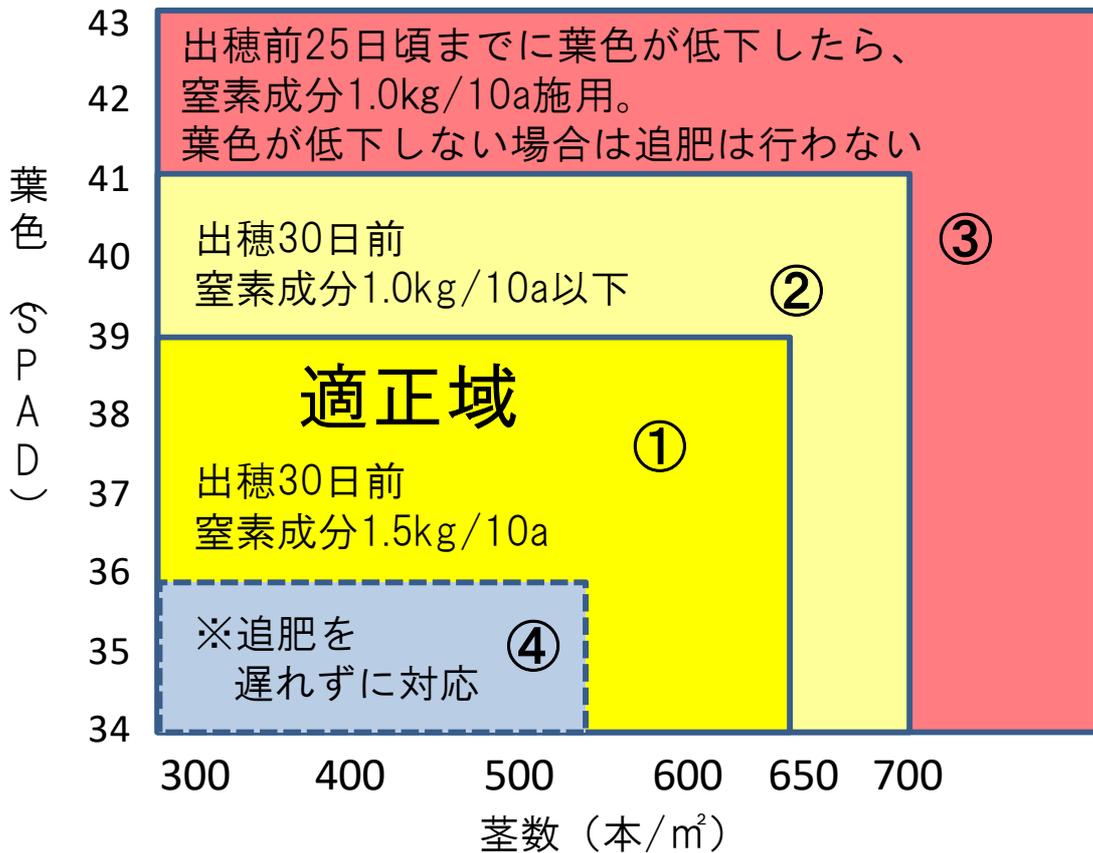
#### ④ 生育量小さい・葉色薄い

【mあたり茎数が 500 本/m<sup>2</sup>以下、かつ葉色が 36 以下の場合】

→ 出穂 30 日前まで、**窒素成分で 1.5 kg/10a 以下**

※追肥量を多くすると消化しきれずにタンパクが高まる！

## 【10葉期の生育診断】



今年の出穂予想：8/9～11日頃→追肥時期の目安7月10～12日頃  
追肥時期が遅れると、玄米粗タンパク含有率が高まり、食味が低下する恐れあり。生育診断に基づき、遅れずに追肥を実施しましょう！

### 4 いもち病・斑点米カメムシ類の対策は万全に！

- 本田で「葉いもち」の発生が例年より早い時期から確認されています。また、葉いもちの感染に好適な条件が続いており、多発が懸念されます。圃場をよく見回り、**早期発見、早期防除**を徹底しましょう。
- 斑点米カメムシ類の発生が「多い！」状況です。早急に草刈りを実施し、生息密度を減らしましょう！

※水田内のノビエやイヌホタルイなどの雑草は  
斑点米カメムシ類の水田侵入・増殖を促します。  
**水田内の残草処理を徹底**しましょう。  
(※除草剤の使用の際は使用基準を遵守)



アハゲホトリカスミカメ



アカスジカスミカメ

～草刈りは地域ぐるみで実施し、  
地域全体の密度低減を！～

## 農作業事故・熱中症に注意！

- ◎「もうちょっと…」という無理が重大事故につながります。
- ◎暑い日が続きます。熱中症予防のために水分補給と休息をしっかりと取りましょう！

山形県農薬危害防止運動実施中！～農薬を使用する際は使用基準を再確認！その都度記帳！～